

事業名	町内河川小工事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	佐竹邦夫
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係長	田原慎也

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	河川	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	河川補修件数
【抱える課題やニーズは】	河川未補修による災害の拡大。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町内河川の応急補修等による現況復元。	① 河川補修件数/河川補修件数の実績	目標年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	災害からの未然防止。		実績年度
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者による工事の実施	入札により、民間業者に工事を発注し、オタコムシュベツ川外2河川について、土砂除去及び土のう設置を実施した。	平成24年度
			1件
			1件
			100.0 %
			年度
			年度
			#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町内河川の応急的な工事の実施や事前に態勢整備を実施することで、決壊等の拡大を未然に防ぐことは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	応急的な工事の実施や事前に態勢整備を実施したことにより、決壊等の拡大を未然に防ぐことができた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	決壊等の拡大を未然に防止したことは、事業費の抑制となり、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

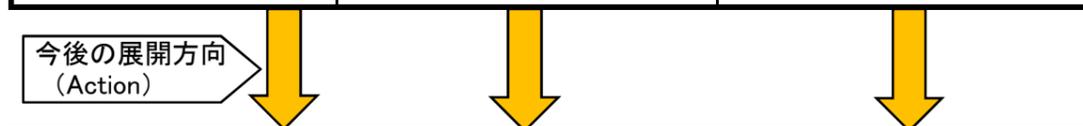
公平	判断の理由	町内河川の応急的な工事により、災害を未然に防止できたことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
災害の未然防止のため、応急的な補修等の工事ができることは、今後も応急に対し必要な事業であると判断する。		



継続/現状維持		
災害の未然防止のために、応急的な補修等の工事に対応することは、必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止